

東京日英学院

2022年度 自己点検・評価表

A：達成されている B：ほぼ達成されている C：改善に取り組んでいる D：取り組みを検討している

1. 教育の理念・目標

評価

1-1	学校の理念、目的・目標や育成する人材像が明確となっているか	A
1-2	その内容が社会のニーズに合致したものとなっているか	A
現状・課題	本学で定めている目的は、定例会議等の機会周知している。日本語授業及び日本語学校卒業後の進路に関するニーズに応えられるよう実績ある人材や組織体制の設置を図っている。	

2. 学校運営

評価

2-1	日本語教育機関の告示基準は満たしているか	A
2-2	学校の理念や目的に沿った運営方針や事業計画が策定されているか	A
2-3	組織運営や人事、財務管理に関する規定や意思決定システム、コンプライアンス体制が整備されているか	A
現状・課題	引き続き日本語教育機関の告示基準に基づき、学校運営を行っている。 毎年度を収支計画表を作成し、また達成状況について毎月の定期的な役員会議で共有を行っている。 組織に係る事項や従業員に公開すべき情報等は、共有フォルダや回覧で漏れなく共有し、良好な運営に努めている。	

3. 教育活動

評価

3-1	教育理念等に沿った教育課程が体系的に編成されているか	A
3-2	生徒が到達すべき日本語能力の目標が明示されているか	A
3-3	成績評価や進級、修了の判定基準は明確となり、運用されているか	B
3-4	教員の指導力向上のための取り組み、教育課程の改善のための取り組みが行われているか	A
現状・課題	定期的な講師会議や教員研修で指導力向上を図り、本学で定めている規程通りに授業を進めている。 就職のニーズに合ったカリキュラム作成やコースの設置、教員の高齢化、教員の募集等が課題である。	

4. 学修成果

評価

4-1	生徒の日本語能力の向上が図られているか	B
4-2	生徒の日本語能力が機関が定める到達目標に達しているか	A
4-3	生徒の進路を適切に把握しているか	B
現状・課題	入学前にプレースメントテストを実施し、学習者の学習目的・能力別にクラス分けを行っている。 また、学期期間中であっても学習者の習熟度に合わせて、随時変更を行っている。 進学における進路は漏れなく把握していたが、今年度に関して、就労先の把握が一部漏れていた。	

5. 生徒支援

評価

5-1	生徒に対する学習相談や進路に対する支援体制が整備されているか	A
5-2	健康管理や日本での生活指導などへの支援体制が整備されているか	A
5-3	防災や緊急時における体制が整備されているかといった観点	A

現状・課題	進路に関する体制として、元大学教授の進学アドバイザーを設置している。 健康管理については年1回の健康診断を行い、異常がある場合は職員が引率し、対応している。 災害時における体制として、ガイドラインを作成し、SNSのグループチャットを活用する備えをしている。
-------	--

6. 教育環境

評価

6-1	日本語教育機関の施設・設備が十分かつ安全に整備されているか	A
6-2	教材は適切か、学習効率を図るための環境整備がなされているか	A
現状・課題	最寄り駅徒歩1分と駅からのアクセスが良く、周辺環境も静かなため立地は良いと言える。 また、自習室として活用できるスペースも設置した。 教材は適宜、クラスの進捗を確認して、検討・手配を行っている。	

7. 入学者の募集

評価

7-1	入学者の募集は適切に行われているか	A
7-2	募集の際に学校情報は正確に伝えられているか	A
7-3	授業料等は適切か	A
現状・課題	コロナ禍に引き続き、ビデオ通話にて学校説明会及び面接を実施している。 授業料等の料金は、変わらず仲介業者や学習者に案内している。	

8. 財務

評価

8-1	中長期的に財務基盤は安定しているか	C
8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	A
8-3	財務について会計監査は適切に行われているか	A
8-4	財務情報の公開の体制はできているか	B
現状・課題	入国制限が緩和されるも、コロナ以前の在籍人数には及ばず、苦しい状況が続く。 収支計画は顧問税理士監修のもと、適切に作成されている。	

9. 法令遵守

評価

9-1	出入国管理及び難民認定法令及び各種関係法令等の遵守と適切な運営を行っているか	B
9-2	個人情報の保護の取組をを適切に行っているか	A
9-3	自己点検の実施と改善及びその公開を適切に行っているか	B
現状・課題	法令遵守に関して、概ね問題ないが、資格外活動の違反防止に向け、オリエンテーションで再三指導を行う等、対策が必要である。個人情報については、あらゆる場面において漏洩がないよう取り組んでいる。	

10. 地域貢献・社会貢献

評価

10-1	日本語教育機関の資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献、生徒のボランティア活動への支援、公開講座等の実施などの取組を行っているか	C
現状・課題	地域貢献・社会貢献に関して、より積極的に実施する必要がある。	